

凡例

① アイテム番号

- ・ 原則、放送番組は1番組を1アイテム、イベント・講演は講演者やセッションごとに1アイテムとした。ただしイベント・講演は映像編集時のアイテムごとの区別を行っていない。
- ・ ファイル番号 0362～0384 については、以下の理由から1ファイルを1アイテムとした。

A)録画番組数が大量で一つ一つの録画時間が短時間、かつ内容も関連している。

B)巻原発に関連のないニュース映像やCMがほとんど録画されていない。

② ファイル名とアイテム名

- ・ 原則媒体本体に書かれた内容をそのまま記載した。
- ・ アイテム名で特に内容の記載のないものや、略記されているものについては内容を確認したうえで記載を行った。

③ 企画者と制作者

- ・ 制作者の明記がされていない場合は、企画者を制作者として記載した。
- ・ VNN(ビデオ・ノー・ヌーク)制作のものはたんぼぼ舎と記載した。
- ・ 制作者、企画者が複数いる場合は、スペースを一マス空けて記載した。

④ 公開評価

- ・ 公開可能でありかつDVDによる視聴が可能なものを「可」と記載し、該当資料に色付けを行った。
- ・ 著作権の制約により視聴ができないものや、DVDでの視聴準備が終わっていないもの、視聴可能な他の資料と重複しているものについては空欄とした。

⑤ 備考

- ・ 同一映像については、1ファイルが1アイテムのみ存在する場合はファイル番号のみを記載し、1ファイルに2アイテム以上のアイテムが存在する場合はファイル番号に加えて括弧つきでアイテム番号も付した。
- ・ 媒体に同封されていた印刷物やメモ、あるいはケース等に貼られた紙などはすべて「添付資料」とした。